

波 動



2018年（平成30年）
6月4日（月）
第18号

学年集会から（作文／ノートより） P R A T 3

○私は中間考査を終えて、どの教科も難しくて、解く事が出来なかった問題がいくつかあり、とても悔しかったです。ふだんは1～1時間半程度しか勉強しないけれど、テストの前は5時間くらい勉強しました。それでも思うように良い結果が出ませんでした。だから私は、勉強法を見直しました。すると休憩しようと思って、本を読んでいたら、1時間以上読んでいたり、30分だけ睡眠を取ろうと寝たら、だいぶ時間がたっていたということが多々ありました。だから、私は前日にまとめて勉強するよりも、毎日少しずつ、今日は時間があるから2時間目標というふうに、毎日コツコツ学習に取り組もうと思います。次の期末テストでは、中間テストの範囲からも出題され教科の数も10教科勉強しなくてはならないので、テスト前日にまとめてすることのないよう、今日から習ったところを少しずつコツコツ取り組みます。 1組

○入学してから、中学校生活にだんだん慣れてきました。部活も始まり、平日だけでなく、土日もある日が続いて、疲れる事もあるけどすごく楽しいです。初めての中間テストで、テスト2週間前くらいから勉強を始めて、部活もあって、帰る時間も遅くなり、やらなければいけない事もたくさんあって、時間が全然ありませんでした。このままだと、結果が悪くなるとあせったりする事もありました。テスト勉強では、予想問題や覚える事に取り組めたので、テストの結果も満足いくテストもありました。でも、期末テストまで後4週間を切っていて、中間テストに比べると期末テストは9教科もあるので計画を立ててテストに備えたいです。

中学校に入ってから、敬語が当たり前ですごく大切な事だと改めて分かりました。あいさつも返す事も大事だけど、自分からあいさつをする事も大事だと思います。あいさつの声が小さかったり、無視する事は、相手の人も嫌な気持ちになったり、失礼な態度なので、これからも大きな声であいさつをしっかり続けていきたいです。 1組

民族音楽学者の小泉文夫さん（1983年没）。世界50カ国の地域で調査を重ねられました。その蓄積から『音楽の力』の素晴らしさを今に伝えています。北極圏で生活する、イヌイット。イヌイットには、捕鯨（クジラを捕まえる）で生計を立てる集団と、カリブーという鹿を捕獲して生活する集団がいますが、捕鯨をする集団の方がはるかに音楽的センスに優れている事に気づきました。カリブーの狩猟は基本的に1人で行いますが、捕鯨は、大勢の協力を必要とします。仲間と獲物に襲いかかるタイミングを合わせるため、日頃からリズム感を培う音楽文化が発達したといえます。彼らは生きるため、家族を養うために歌を歌ったのです。

歌には、人の心を1つにする力があります。私達は、合唱という取り組みの中で、心を1つにする事が出来ます。74回生全員で心を合わせ、気持ちを込めて、自分たちの思いを表現する事が出来ます。表現は表情、声の強弱、発音、身体全体を使ってします。今の自分たちは、どのくらい聞いている人に思いが伝わる合唱ができるでしょうか。

P D C Aプロジェクト②

『74回生の心を1つに自信を持って輝こう！』

6月1日（金）6校時にPDCAプロジェクトの2回目の取り組みを行いました。前半は体を「しっぽ取り」を後半は合唱の映像を見た後、『夢の世界を』の合唱のパート練習を行いました。反省点がたくさんありましたが、次回の取り組みに生かしていけるよう、頑張りましょう。



委員長会から目標を発表しました。

チームに分かれて作戦会議です。



しっぽ取りの様子です。なかなか上手く取れませんでした。次こそは……。次は合唱練習です。音取りからしっかりと頑張りました。いい合唱にするために1人1人意識して！

